

み 建 第 1302 号
平成20年10月20日

国土交通省道路局長 殿

佐賀県みやき町長 末 安 伸 之



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

平成20年9月19日付国道企第37号で依頼があった標記の件につきまして、別紙様式にて回答いたします。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ①

①道路行政全について改善すべき点、要望や提案など

佐 賀 県 み や き 町

- 主要渋滞個所の早期渋滞解消（交差点改良の実施）のための政策強化の実施
- 地域振興・活性化を促進し、安全で円滑な交通を確保するため、一般国道、県道、市町村道の道路整備の促進
- 地方の声や道路整備の実情に十分配慮し、地方が真に必要としている道路整備を遅らせないよう、必要な予算が確保できること

今後の道路行政についての意見・提案

②－１ 地域の現状と抱える課題

様式 ②

佐賀県みやき町

○現状

- 未改良交差点等による慢性的な交通渋滞
- 歩道未整備による交通事故の多発、沿線住民の日常生活の悪化

○課題

- 早期の事業スケジュール策定
- 事業スケジュールに沿った安定的な財源の確保
- 個別事業のスピードアップを図るため、スケジュール管理の徹底

- 縦横断幹線道路網の整備、交差点改良、歩道設置など交通混雑の解消、安全確保のための政策
- 地域活性化や物流のため都市や交通拠点を結ぶ道路の整備
- 日常の暮らしを支えるため生活幹線道路の整備

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

様式 ④

佐賀県みやき町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
都市交通の快適性 利便性の向上	国道３４号線と県道中津隈原古賀線が交差している、三養基高校入口交差点は、双方の道路とも歩道が狭小（一部歩道なし）で、右折レーンもなく右折車による直進車障害をきたし、慢性的な交通渋滞である。また、交差点横には高等学校が近接し、登下校時には歩行者横断による右折車障害が生じると共に、信号待ちの歩行者の滞留スペースがなく非常に危険であり、早期の交差点改良をお願いしたい。	多発する交通事故の減少、沿線住民の健全な日常生活の確保、さらに産業・文化交流活動等の更なる発展	
総合的な交通安全 対策、及び危機 管理の強化	国道２６４号線は当町を東西に横断する主要な幹線道路であり、一部交差点改良や両側歩道の設置に着手されているが、まだまだ未整備な箇所が多くみられ、計画が未定な箇所もある。 沿線には、小中学校が３校あり通学路として利用しており、早期に路線決定をしていただき、自転車歩行者の安全確保のため、両側歩道を設置した道路改良整備をお願いしたい。	多発する交通事故の減少、沿線住民の健全な日常生活の確保、さらに産業・文化交流活動等の更なる発展	